

【2022 年上半期の火災統計（速報値） について】

2022 年上半期の火災統計（速報値）を取りまとめましたので公表します。

※ 速報値としての公表であり、精査の結果、数値を修正する場合があります。

※ 小数点を含む数値は、小数第二位を四捨五入して表記しています。

※ 平均値は、2012 年から 2021 年までの 10 年間の数値です。

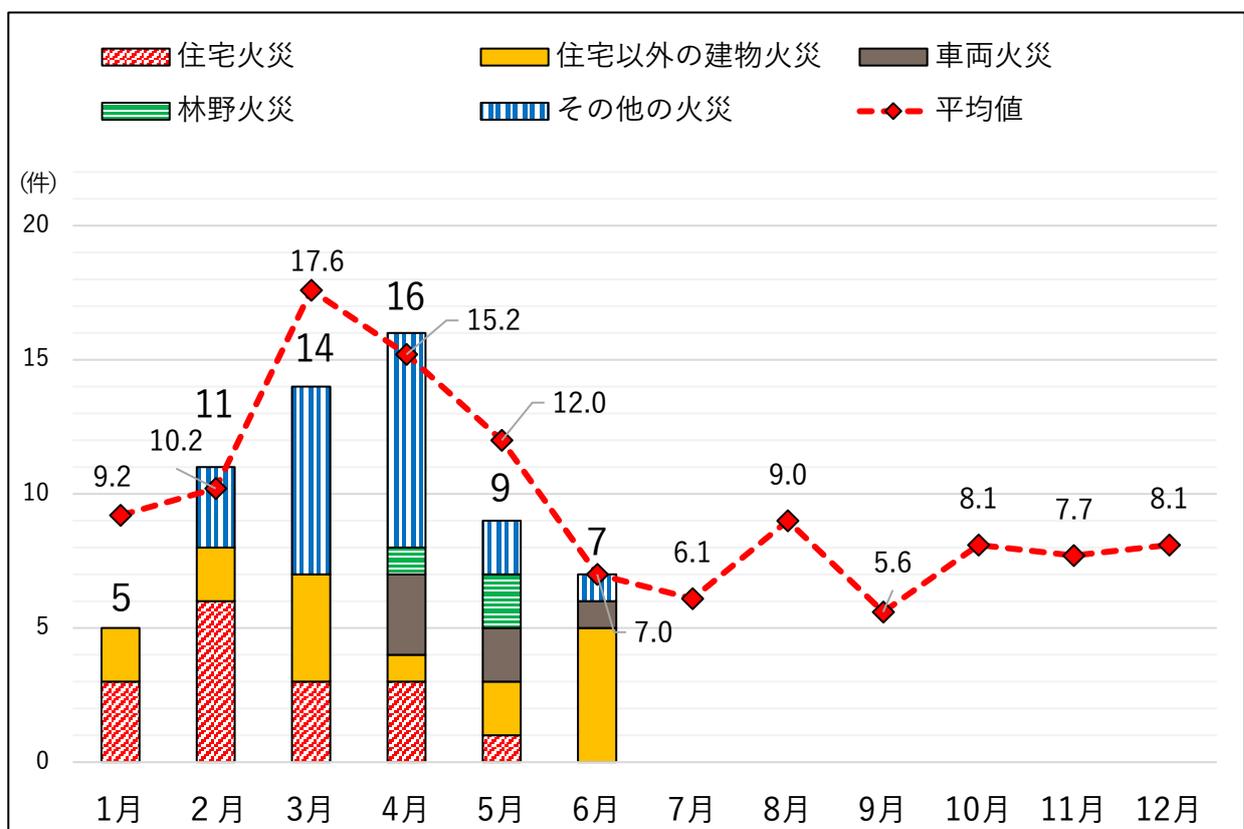
1 月別火災件数の推移

2022 年上半期の火災件数は 62 件で、2021 年同期間の 72 件と比較して 10 件（13.9%）減少しました。

月別の件数をみると、4 月が最も多く 16 件、次いで 3 月が 14 件、2 月が 11 件と続きます。

これらの月（2 月、3 月、4 月）の特徴として、住宅火災に加えその他の火災が多く、また最多の 4 月は全種別の火災がありました。

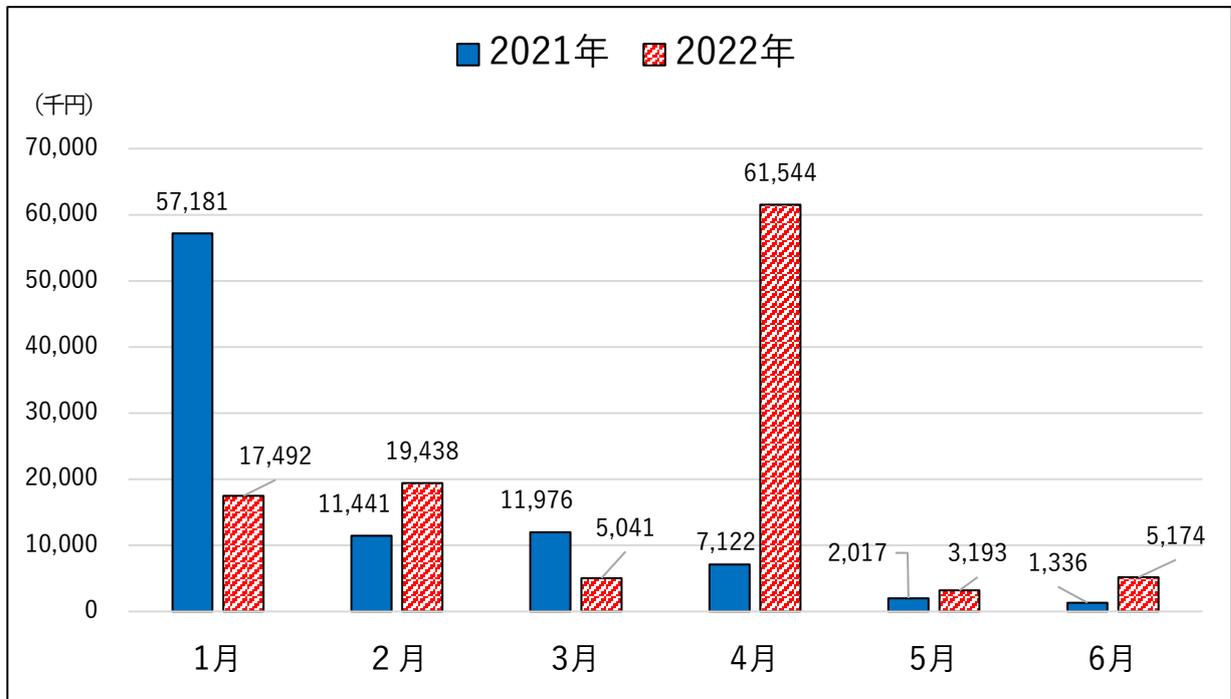
住宅火災に着目すると、2 月が 5 件で最も多く、1 月、3 月、4 月が 3 件、5 月が 1 件、6 月は 0 件でした。



2 月別損害額の推移

2022年上半期の火災による損害額は合計111,882千円で、2020年同期間の91,073千円と比較して20,809千円(22.8%)増加しました。

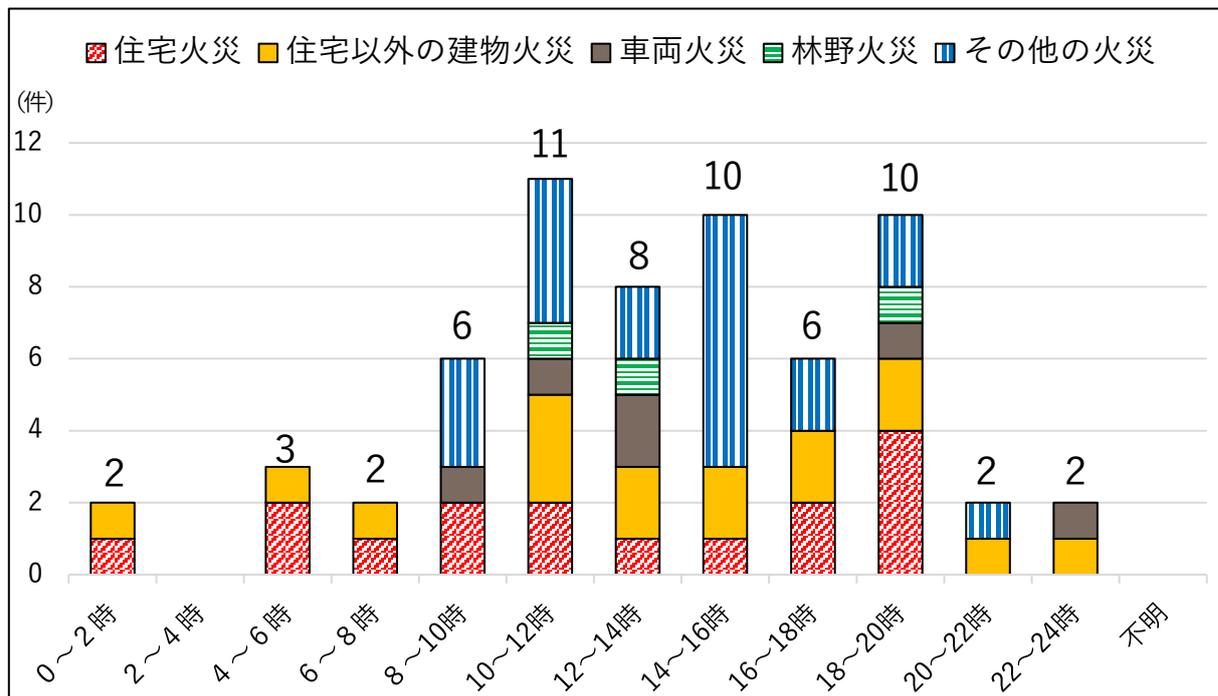
月別にみると、1月と3月を除く月で前年より増加しました。



3 発生時間帯別の火災件数

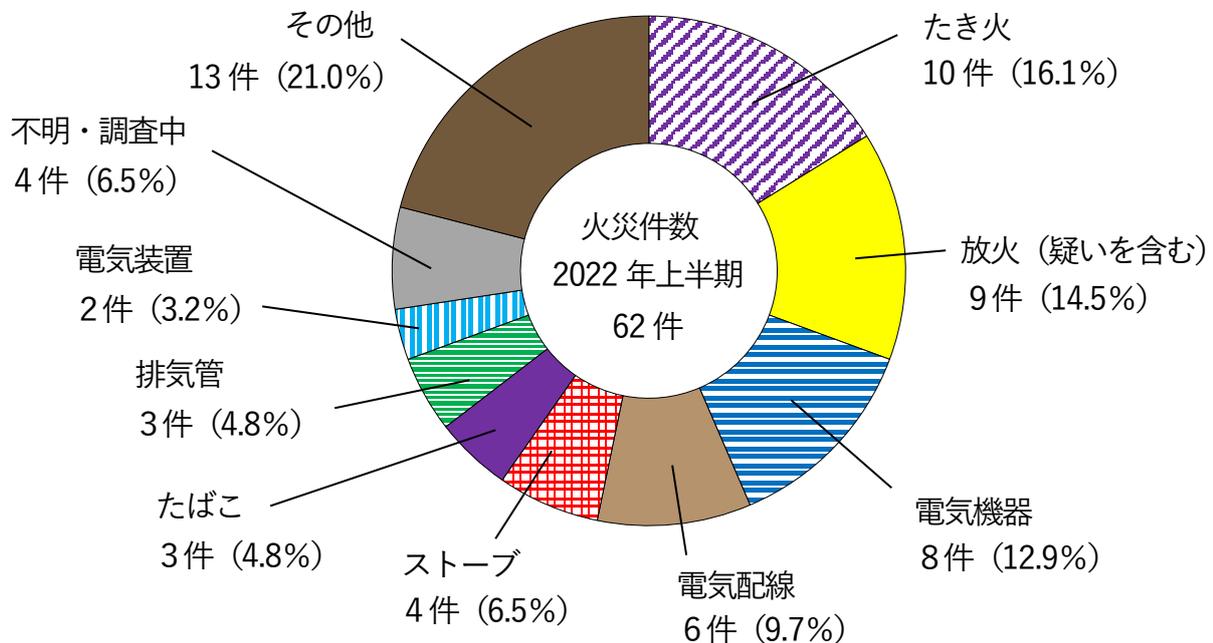
発生時間帯別の火災件数をみると、「10時から12時」が11件で最も多く、次いで「14時から16時」と「18時から20時」が10件と続きます。

昼前後と夕方から夜にかけての時間帯に特に多く火災が発生したことが分かります。



4 出火原因

出火原因で最も多いのは「たき火」の10件(16.1%)、次いで「放火(疑いを含む)」の9件(14.5%)、「電気機器」の8件(12.9%)と続きます。



5 火災に至る行動等の分析

火災に至る行動等で最も多いのが「不適切な取り扱い」の23件(37.1%)、次いで「施工・点検・整備不良」の14件(22.6%)、「犯罪」の9件(14.5%)と続きます。

